

農・畜産・水産業の振興と農村活性化や、林業・木材産業の振興と新たな森林環境管理体制の構築を進めます。



林業・木材産業の振興と 新しい森林環境管理体制の構築

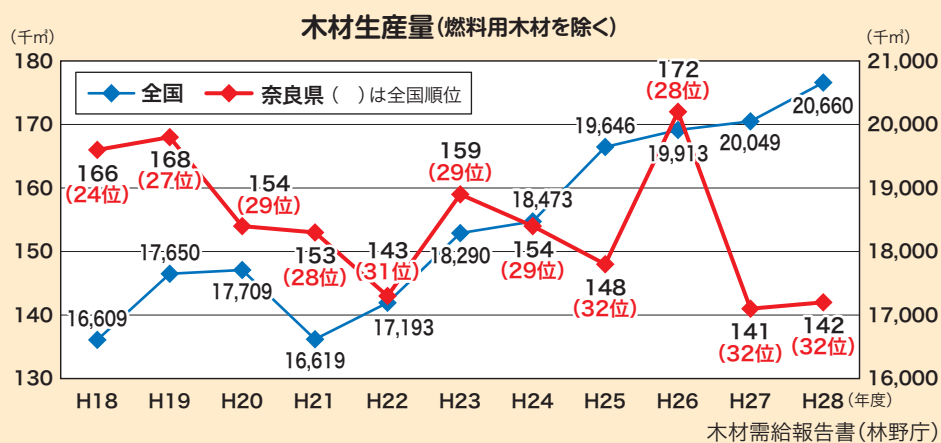
主担当部局：農林部



スイス・ベルン州から実習生の受け入れ(十津川村)

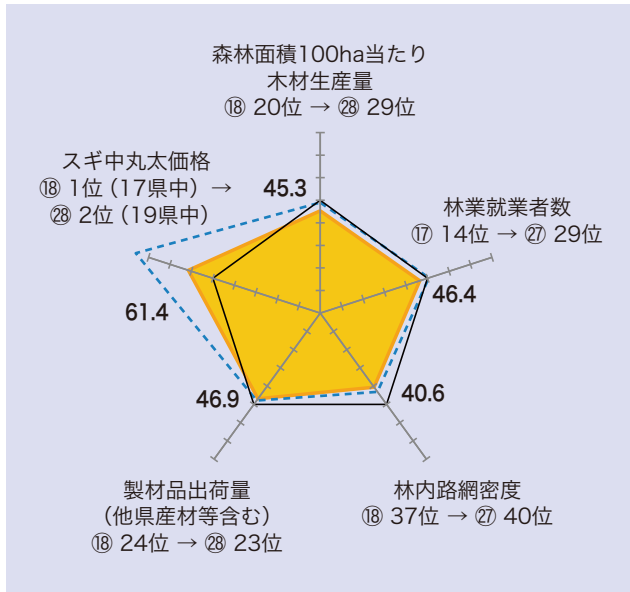
目指す姿

平成32(2020)年までに、**木材生産量を25万 m^3** (A材^(注)148千 m^3 、B材44千 m^3 、C材58千 m^3)に増やすとともに、平成33(2021)年度に、**新しい森林環境管理体制を導入**します。(注)A材・・・建築用材 B材・・・集成材・合板用材 C材・・・パルプ・チップ用材

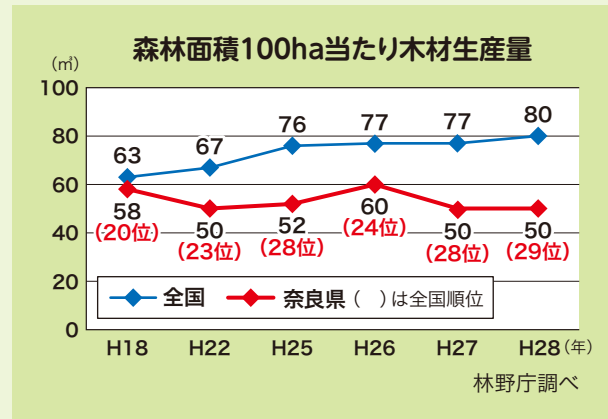


目指す姿を達成するための取組状況

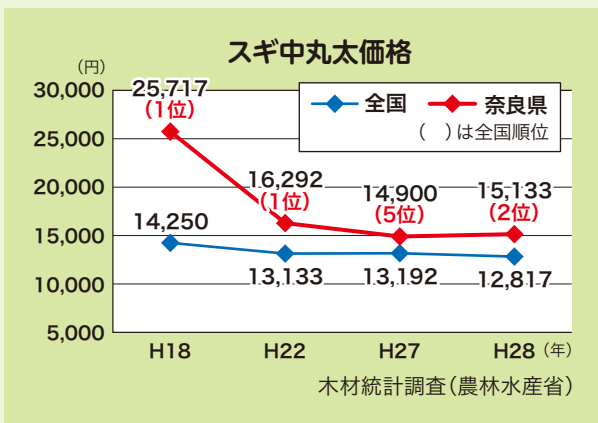
● 現状



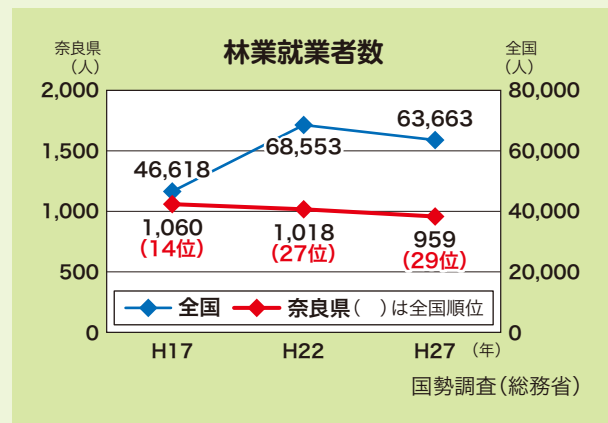
● トレンド



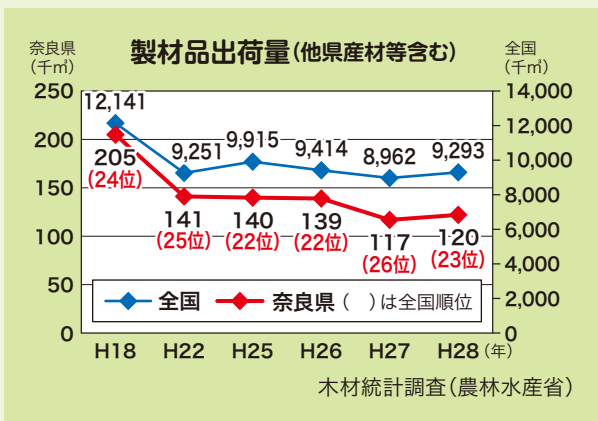
森林面積100ha当たり木材生産量は、全国に比べて低位で推移しています。



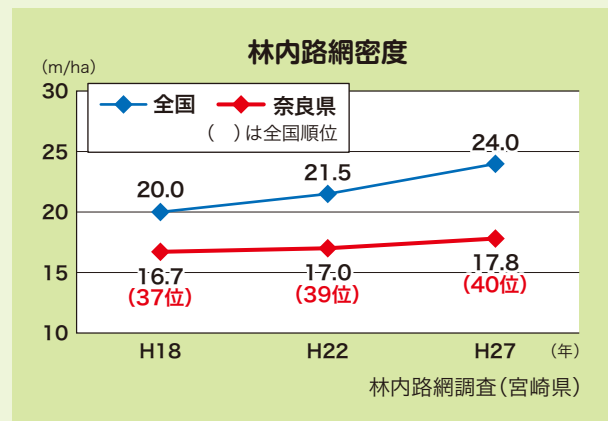
奈良県のスギ中丸太価格は、全国平均よりも高い価格で推移していますが、価格差は縮小しています。



奈良県の林業就業者数は、わずかに減少傾向です。



製材品出荷量(他県産材等含む)は、建築用材の出荷量の落ち込みにより、平成27年まで減少傾向が続いていましたが、平成28年は増加しました。



路網の整備は着実に進んでいますが、全国平均には及んでいません。



戦略 1

森林環境の適切な管理を図ります。

主担当課：農林部 新たな森林管理体制準備室、森林整備課

戦略目標

スイスで森林環境管理体制を学んだ人の数(累計)

17人
平成28(2016)年度

目標
→

80人
平成32(2020)年度

多面的機能を持った森林整備面積(累計)

63,291 ha
平成27(2015)年度

目標
→

67,344 ha
平成34(2022)年度

施業放置林間伐面積(累計)

538 ha
平成18(2006)年度

目標
→

11,800 ha
平成32(2020)年度

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
新たな森林環境管理体制の構築	条例制定に向けた有識者への意見聴取	● 条例制定	条例に基づく森林環境管理体制の周知
山地災害の予防・復旧	緊急度・重要度の高い箇所への優先的な治山事業の早期実施		
森林の整備・保全推進	施業放置林の強度間伐、緊急森林被害対策の実施		



スイス・リース林業教育センターからの実習生による訓練実習(川上村)



整備後の施業放置林(十津川村)

戦略 2

全ての材を搬出して多用途に供給するカスケード利用への転換を図ります。

担当課：農林部 林業振興課

戦略目標

儲かる林業施業提案森林及び第1種木材生産林からの木材生産量(累計)

5千^m₃ 平成25(2013)年度 → 目標 30千^m₃ 平成32(2020)年度

奈良型作業道整備延長(累計)

0km 平成22(2010)年度 → 目標 210km 平成32(2020)年度

B・C材の搬出量

19千^m₃ 平成25(2013)年度 → 目標 102千^m₃ 平成32(2020)年度

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
儲かる林業施業提案による素材生産の拡大	集約化施業提案団地の選定、所有者への提案、マッチング		
奈良型作業道や林道、架線集材施設等による木材生産の拡大	第1種木材生産林施業団地の募集、奈良型作業道の開設、林業機械の導入、架線集材施設等への支援		
間伐材の搬出・利用への支援	全ての出材に対する支援		



高性能林業機械による造材(十津川村)



森林所有者への施業提案地元説明会(天理市)



戦略 3

全ての材の受け皿の確保及び県産材製品の安定流通の実現を図ります。

主担当課：農林部 奈良の木ブランド課

戦略目標

大規模製材工場と川上との
直接安定取引契約件数(累計)

0件
平成25(2013)年度

目標

10件
平成32(2020)年度

公共事業や公共建築物での県産材使用量

5千^m
平成25(2013)年度

目標

7千^m
平成32(2020)年度

県産材自給率

55%
平成25(2013)年度

目標

64%
平成32(2020)年度

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
全ての材の受け皿の確保、 競争力ある製材・加工・流通体制の構築	安定した流通や取引契約の実現取引量の 増加等に向けた取組の実施		
県産材製品の販路開拓及び多用途での 利用拡大	県産材のブランド力向上に向けたPR活動の実施、 首都圏・海外への販路拡大		
川下、川中、川上 ^(注) が連携した県産材の 利用拡大を図る取組の推進	県内林業・木材産業関係者に対する 需給コーディネート機能の構築		

(注)川下…マーケット、川中…製材・加工・流通、川上…山側



株式会社サンクゼールと県との連携協定による県産材利用の推進



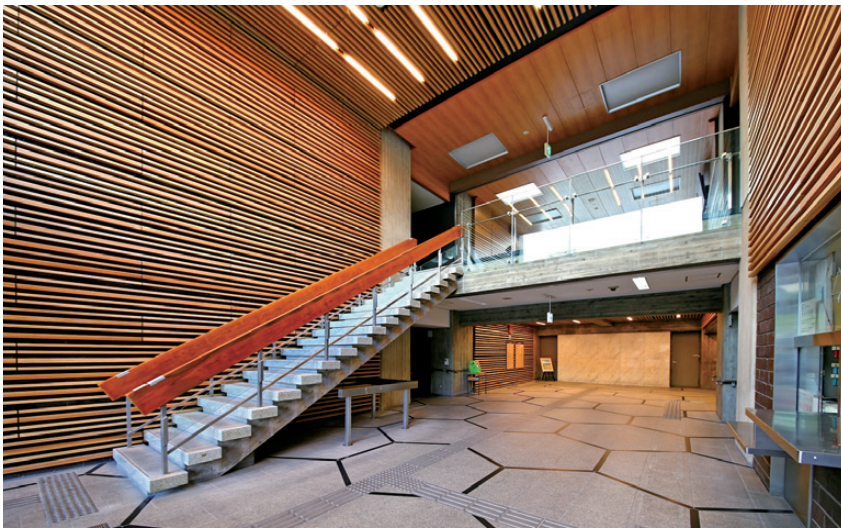
東京ギフトショーへの県産材製品出展



スイス林業教育センターによる森林視察(川上村)



奈良のスギバイオリンの演奏(高取町)



県庁エレベーターホールの木質化